

三條別院のご案内

三條別院に想う

今、境内にこがね色した「まんさく」の花が満開です。

三條別院は越後の四五〇ヶ寺を超える寺院と門徒の念仏求道の中心道場として、常に私たち門徒を温かく迎えて下さる僧伽であります。

「三條別院おとりこし報恩講」は「宗祖親鸞聖人に遇う」を基本理念として、真宗門徒の礼拝、自覚と実践の場であり、最も大事な法要であります。

今、本願念仏に生きる人の誕生を願って「帰敬式実践運動」を推進しています。

本当の真宗門徒になるために最初に帰敬式を受け、法名をいただき仏弟子、仏の子となり、大きな感動と安らぎをいただきます。仏教の出发点は「帰依三宝」の自覚からです。浄土真宗に帰依し、真宗門徒としてのわが身を問いつ返し、自己の確認、聞法の歩みがここからはじまります。

「同朋唱和勤行」仏教の出发点は礼拝、帰依、合掌、礼といわれています。

わたし達は、お内仏を中心とした生活、日々の勤行（おつとめ）の中で、仏の子として、仏弟子として、南無阿彌陀仏の教えにわが身を問いつ返し、常に確かめていかなければなりません。

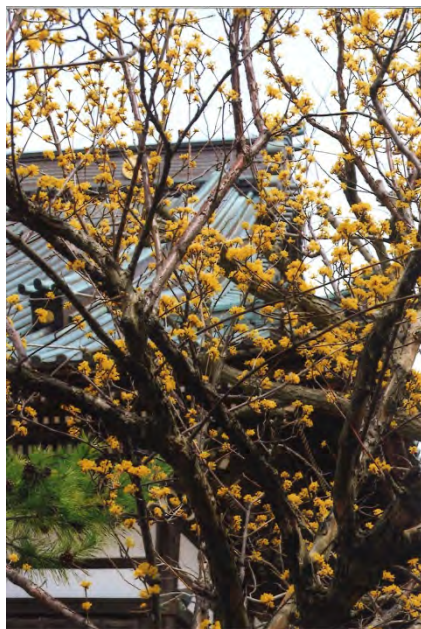
真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

これからも、念仏の僧伽にめされて、わが身を投げ出して無我の仏法聴聞の歩みが続けたいと願うものであります。

合掌 釋樹心



(第十組 光圓寺門徒 服部 敏男 氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

廣瀨 清和氏 (第十二組 淨念寺) より

ご執筆いただきます

3・11 勿忘（わすれな）の鐘



「大津波によって一瞬にして市街地を喪失した岩手県陸前高田市。街のほぼ中心に在った本稱寺も本堂基礎のコンクリートがかつての所在を教えるばかりとなっていました。震災から一年後、その跡地に櫓をくみ、土中から発見された梵鐘を吊り

下げ「勿忘の鐘」と名付けました」(『真宗』三月号より)。仙台教区東日本大震災復興支援本部より全国の真宗大谷派寺院に呼びかけられた「勿忘の鐘」を当別院でも地震発生時刻の三月十一日十四時四十六分に撞き、十数名の参詣者と共に、仮本堂にて正信偈同朋奉讃にてお勤めいたしました。鐘楼堂の上は三月とはいうもののまだ寒く、雪が降ったと言われる震災当時の被災地の様子を思い出し、そしてこれから歩んでいく長い道を考える一日となりました。



春彼岸会のご報告

去る三月二十二日から二十四日まで、春彼岸会が厳修されました。初日の二十二日には、教区内寺院から提供いただいた物品をもとに、東日本大震災復興支援チャリティーバザーを開催し、支援活動記録写真展を併設しました。また、教区内有志により、被災地の雑貨・物産展・フラスナーポーチ等の小物販売を行いました。

二十三日には、一昨年五月に厳修される宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要を前に今一度、三条別院の歴史に聞く」という趣旨で日中（永代経総



【50名近い来場者があり、仮本堂をお参りし、バザーを楽しんだ】

経）・速夜のお勤めの後に村

山教二氏（真宗

史研究者・十一

組願興寺衆徒

にご法話いた

だきました。元

禄時代の三条

掛所創建のき

つかけとなつ

た、大谷派寺院

の仏光寺派へ

の集団転派の原因である願生寺事件の背景と内

実に言及されながら、後半はこの問題は「異安心

事件」と片付けられるものでなく、国外追放とな

った願生寺の訴えには純粹な信心に帰せよとい

う熱意があり、実は信心が能動的であるのか受動

的であるのかという、信心の根幹に関わる問題で

もあつたという指摘がありました。また、村山氏

は高校教諭時代に三条にも縁が有り、「御坊様のお取り越し」と親しまれる報恩講の賑わいをはじ



めとして、法華宗の本成寺が有り、かつては西別院が有ったことなど、三条市は「仏都三条」なのだと言われました。現在、三条マルシェや本寺小路明かり物語など、三条の象徴としての三条別院に注目が集まっております。この法話を通して、別院はその期待に応えるだけの歴史を有しているのだと改めて確認することができました。

二十四日には鷲尾輪番より法話があり、二昼夜三日間に亘って勤められた彼岸会が終了いたしました。

最後にチャリティーバザーの物品の提供、出店当日のスタッフ等、教化審議会・別院有志の会をはじめとして教区内の多くの方々のお助けを借りて無事に勤められたことを御礼申し上げます。

最後にチャリティーバザーの物品の提供、出店

当日のスタッフ等、教化審議会・別院有志の会を

はじめとして教区内の多くの方々のお助けを借り

て無事に勤められたことを御礼申し上げます。

改観寺雑巾講報告

去る二月十七日に新潟市秋葉区川口にある改観寺にて、雑巾講が行われました。

この雑巾講で皆さんから縫って頂いた雑巾は、

報恩講も近くなる毎年十月に三条別院に御寄附

頂き、一年を通して清掃に使わせて頂いております。

今年も職員が招待

され、参加者と共に

雑巾を縫うお手伝い

をさせていただきました。

参加者は御門

徒を中心にご近所の

方も参加され、中には「私、ここ（改観

寺）に来たことなど、三条市は「仏都三条」なのだと言われました。現在、三条マルシェや本寺小路明かり物語など、三条の象徴としての三条別院に注目が集まっております。この法話を通して、別院はその期待に応えるだけの歴史を有しているのだと改めて確認することができました。



【一枚一枚手縫い】



【二胡の演奏とおなじみの独唱】

寺様)の門徒ではないのよ。ただ誘われたら楽しくてね」というような方もおられて、お寺を中心に地区のコミュニティーが形成されている姿は、とても和やかな場であると感じました。

その和やかな空気は、二胡(にこ)の演奏や、改観寺当院様の独唱、うどんの振舞いなど、集まりやすい場を作られている事にも起因しているのでしょうか。

この雑巾講で作られた雑巾は、現在工事中の別院本堂が完成し、綺麗になったその姿を維持する大切な一枚として使用させていただきたいと思えます。(取材・松浦)

■ 別院公開講座のご案内

「地域に開かれた別院」を願ひとし、本年も左記の通り、公開講座を開催いたします。

森田正馬(一八七四〜一九三八)の開発した、日本生まれの心理療法である森田療法は、仏教をはじめとした東洋思想に影響を受けていて、西洋

的な価値観のゆらぐ現代で、その哲学が再注目されています。そこで、昨年引き続き、北西憲二氏(森田療法研究所所長・北西クリニック院長)に、心理療法の最前線と仏教の関連についてお聞きします。

◇日時 五月二十五日(日)

午後一時三十分〜午後四時三十分

◇場所 三条別院内 同朋会館

◇講師 北西憲二氏

(森田療法研究所所長・北西クリニック院長)

◇講題 「心の問題と仏教思想・親鸞思想

— 死と生をめぐって —

◇参加費 無料

※教区内寺院にはポスターを一部つ

つお配りいたしますので、掲示をお願いいたします。



■ 御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。本堂修復に伴い、一年間仮本堂(同朋会館二階)でのお勤めとなります。



どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。なお、前日(二十七日)はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【四月二十八日(月)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

渡邊 智龍氏 (第十八組 恩長寺)

◇今後の講師一覧

五月 小林 智光氏 (第十二組 淨照寺)

六月 土屋 真氏 (第十五組 淨照寺)

■ 定例法話会のご案内

毎月十二日には、「兩度の命日」と呼ばれている前門首の「命日」です。また、蓮如上人も御文の中で、この「兩度の命日」についてお書きになられています。(四帖目十二通)

旧御堂にて開催し



【藤波龍英氏】

ておりましたが、改修工事に伴い、一年間仮本堂（同朋会館二階）での開催となります。皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より（二時間程度）
◇場所 三条別院 仮本堂

※会場は変更になる場合があります

藤波龍英 氏（第十八組 西入寺）
五月〜七月
井上 正 氏（第十組 受徳寺）

■別院声明教室のご案内

今年の別院声明教室が二月より始まりました。毎日のお勤めを学びたい方、これから得度を受けられる方、研鑽を積みみたい方、是非一緒に学びましょう。

- ◇開催日 四月十六日(水)、五月二十一日(水) 六月十八日(水)
 - ◇時間 午後六時より午後八時まで
 - ◇会場 教区同朋会館（三条別院内）
 - ◇講習内容 正信偈 草四句目下 念仏讚 淘三
 - ◇講師 中富正純氏（第二十三組 福照寺）
 - ◇持ち物 『真宗大谷派勤行集』または『大谷聲明集 上』、念珠、筆記具
 - ◇参加費 五〇〇円/回
- 参加希望の方は当別院までご連絡ください。

一緒にお勤めしよう！



■別院書道教室のご案内

書道教室受講生を追加募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 毎月一回

（第一、第四水曜日）

- ◇時間 午後六時三十分〜八時
- ◇講師 木原 光威氏（新潟県書道協合理事）
- ◇持ち物 筆（大・小）、硯、下敷、文鎮、墨液、半紙、新聞紙
- ◇月謝 二五〇〇円（テキスト代含む）

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記帳してください。その後、シーツクリーニング代五〇〇円とシーツを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より仮本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によつて護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。

ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方（団体）の、冥加金は左記のとおりです。

- ◎冥加金
 - ・日帰り 一、五〇〇円
 - ・一泊二日 二、五〇〇円
- ◎食事代（昼・夕食は業者発注のため）
 - ・朝食代 五〇〇円
 - ・昼食代 一、〇〇〇円程度
 - ・夕食代 一、三〇〇円程度

■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてますので、お気軽にご相談ください。

※現在、宗祖真向御影巡回を行っております。ご希望の場合は組長経由でご相談ください。

■三条別院有志の会について

有志の会は、おあさじに法話を頂くばかりで私達に何か出来ないかという事で「本堂を掃除させて下さい」から始まりました。

おあさじ、最

初はお参りするという気持ちで通っていたのが、いつからかおあさじを勤めるといふ気持ちに変わっていました。そして報恩講、お参りは当然ですが「何か手伝わせて下さい」と押しかけ、終わると「今年も報恩講が勤まった」とほっとし「またあすから始まるね」と職員と話す。今はいろんな行事のお手伝いをさせて頂いています。そして御命日の集いが始まり、定例法話会が始まり、十年が経ちました。現在十余名の会員、多い人数ではございませんが、ひとりひとりが「私達の大事な聞法道場、このごぼさまを護持して往かなければ」という同じ気持ちを持つている事が素晴らしい事です。今までは職員に頼りっぱなしでしたが、この度「有志の会」として一步を踏み出すことになりました、これからも宜しくお願いします。

三条別院有志の会会長 山田恵美子



■職員退職のご挨拶

このたび、自坊の住職が急に体調を崩したこともあり、三条別院を二月に退職することになりました。在職中、皆様の一方ならぬご厚情を賜り深く感謝しております。



今後は、自坊の法務を中心に、勤めていく所存でございます。なお、別院報恩講の掛役等では可能な限り、お手伝いさせて頂いていただきますので、何卒今までと変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

先ずは、略儀ながら書面をもちましてご挨拶申し上げます。

非常勤嘱託 渡辺 正志

◇◇編集後記◇◇

別院職員となつてから三ヶ月が経ちました。誤解という言葉があります。私のもと金融機関に居た、ということ、経理・人事のことは全部知つている筈だと、みんなが思っているらしいのですが、それを誤解といいます。金融機関では経理は経理部、人事は人事部という本部の仕事なのです。警察官が毎日ピストルを撃ちまくっていると思つると同じくらいの誤解です。別院と教務所の役割の違いもよく解らなかつたのですが、ようやく薄紙を一枚一枚剥がされるように、先輩の方々

(年は私の息子ほどですが)から無理矢理、解らせられて今日この頃です。大谷派の別院は五十五ほどありますが、その成り立ち・その現況はそれぞれかなり違っているようです。三条別院はご存知のように、願生寺騒動といわれる異安心事件の結果四十八ヶ寺が仏光寺へ転派してしまつたという大事件がありました。このようなことが二度と起こらないようにと「指導と監督」のために新井と当三条に置かれた「掛所」が始まりです。また、聖人や蓮如さまと関係の深い由緒寺院もあります。開教区の設置とともに置かれた新しい別院もあります。直参門徒を抱えているところもあれば、当別院のように全く居ない別院もあります。結婚式が出来るような設備を持つところもあります。

別院の運営をどうしていこうかと悩み、行動に移していくのが私たちの責務です。

ガンバリマス。

(有坂)

